

平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた 指導改善資料 子どもの目線に立つ 2019

本資料は、全国学力・学習状況調査の岐阜県の結果を踏まえて、指導改善を図る際の参考になるよう、県教育委員会が作成したものです。

調査対象教科や対象学年だけでなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって指導改善を図っていくことが大切です。

本資料が、日々の授業や研修会等の様々な場面で活用され、岐阜県の児童生徒の学力や学習状況の改善につながることを期待しています。



目次

教科に関する調査	これまでの調査において、課題となった問題に着目し、指導改善の成果と課題を明らかにしましょう。	1
国語	学んだ漢字をさまざまな言葉に応用し、語彙を広げることができる指導の在り方を明らかにしましょう。	3
	既習の知識及び技能を意図的に活用させ、確実な定着を図りましょう。	5
算数・数学	概念や性質の理解を伴った、生きて働く知識及び技能の確実な定着を図りましょう。	7
	より深く理解するために、統合的・発展的に考察する力を高めましょう。	9
英語	3つの視点から、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動の内容を見直しましょう。	11
質問紙	質問紙調査の結果から、児童生徒の意識や指導改善の取組の成果・課題を見つめ、今後の指導の重点を明確にしましょう。	15